

各 位

会 社 名 株式会社 日本エスコ
 代表者名 代表取締役社長 伊藤 貴 俊
 (東証プライム市場・コード 8892)
 問合せ先 取締役 管理本部長 松澤 光彦
 電 話 03-6230-9308

支配株主等に関する事項について

当社の親会社である中部電力株式会社(以下、「中部電力」と言います。)について、支配株主等に関する事項は、以下のとおりとなりますので、お知らせいたします。

記

1. 親会社、支配株主（親会社を除く）又はその他の関係会社の商号等

(2024年3月31日現在)

名称	属性	議決権所有割合 (%)			株式が上場されている 金融商品取引所等
		直接所有分	合計対象分	計	
中部電力株式会社	親会社	51.3	—	51.3	東京証券取引所 プライム市場

2. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置づけ、その他の上場会社と親会社等との関係

①当社は中部電力の連結子会社であり、同社は当社議決権の51.3%を所有する親会社です。

当社は、中部電力と2018年8月28日付で資本業務提携契約を締結し、同年9月5日に同社の持分法適用会社(議決権保有割合33.3%)となりました。

その後、2021年4月5日に同社を割当先とする第三者割当増資を実施したことにより、中部電力の連結子会社(議決権所有割合51.4%)となりました。中部電力及び中部電力グループ会社との間では、不動産開発事業、人事交流等連携を進めております。

当社による上場会社としての自主的で機動的な経営を尊重することを中部電力と相互に確認しており、当社の意思決定に基づき自ら経営責任をもって事業経営を行える状況にあることから、親会社からの独立性は確保されていると考えております。

②中部電力の100%子会社である中電不動産株式会社(以下、「中電不動産」と言います。)との共同事業として、愛知県、静岡県、長野県において分譲マンション開発を行っております。また、大阪府吹田市における複合開発「TSUNAGU GARDEN 千里藤白台」プロジェクトでは、2023年11月に商業街区を街びらきし、現在分譲マンションの開発も行っております。当社の強みである不動産開発に係る企画・事業ノウハウ等と、中部電力グループの強みであるエネルギー供給、中部圏での営業基盤や電力事業で培った設備工事のノウハウ等を併せて活かして事業を推進しております。

中部電力とは、2つの共同プロジェクトを行っております。愛知県において、中部電力を代表法人とする事業者グループに、当社も構成メンバーとして参画し、「名古屋競馬場跡地開発事業」に取り組んでおります。当該事業においては、多様な人々がつながり、お互い助け合いながら社会が直面している様々な課題を解決し、共に幸せをはぐくみ、次世代型のまちづくりを目指してまいります。当社は、この街づくりにおいて複合商業施設開発を手掛ける予定です。

また、当社と中部電力、及び株式会社スプレッド(以下、「スプレッド」と言います。)の3社で設立した「合同

会社 TSUNAGU Community Farm」は、静岡県袋井市において、世界最大規模となる1日10トンのレタスを生産できる完全人工光型植物工場「テクノファーム袋井」を建設し、2024年2月に初出荷を行いました。中部電力が持つ資本力やエネルギーマネジメントの知見と当社の開発のノウハウを合わせることで、脱炭素化に向けた取組みやコストの低減を図り、より安価な工場野菜の生産に寄与するとともに、栽培や物流についての実績を持つスプレッドと協業し、効率的かつ安定的に「安心・安全」なレタスの生産に取り組んでまいります。

今後もシナジー効果を発揮すべく、さらなる事業を展開してまいります。

③2023年3月24日開催の定時株主総会において中部電力出身の監査等委員である取締役が1名（若山智彦取締役）、2024年6月25日開催の定時株主総会において同社出身の取締役が1名（松澤光彦取締役）就任しております。その他、中部電力の社員が当社子会社の株式会社エスコンアセットマネジメント（以下、「EAM」と言います。）及びFUEL株式会社の取締役に各々1名就任しております。

④中部電力の社員を当社にて出向受入れしております。また、中電不動産と当社及び当社子会社間において、出向による人事交流を行っております。

⑤EAM及びEAMが資産の運用を受託するエスコンジャパンリート投資法人（以下、「EJR」と言います。）は、中部電力ならびに中電不動産とそれぞれサポート契約を締結しております。

2024年6月28日に、EJRは中電不動産より、暮らし密着型の商業施設「tonarie 大和高田」（準共有持分50%）を追加取得しております。また物件の取得資金を調達するため、2024年6月11日付で中電不動産を割当先とする第三者割当増資を実施しております。

今後も当社グループはEJRのスポンサーとして、EJRの収益の向上と安定的な成長を支えてまいります。

当社は、2030年度までに当社が目指すべき方向性を定めた「長期ビジョン2030」における事業戦略上の重点テーマの一つに「中部電力グループとのシナジー効果発揮」を掲げております。両グループの持つ技術・人材・ノウハウなどの両グループが保有するリソースを最大限に活用し、エネルギーマネジメント手法・最先端デジタル技術の活用や、教育・医療・健康等の他領域で連携を図ってまいります。

3. 支配株主等との取引に関する事項

当連結会計年度(2023年1月1日～2024年3月31日)

該当事項はありません。

4. 支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

中部電力は、当社の少数株主の利益に配慮し、当社に対して、その少数株主に不合理な利益が生じることとなる一切の取引を行うことを強制しないことを確認いたしております。

以上